

熊本市北区の小学5、6年生が20日、菊陽町の崇城大空港キャンパスを訪れ、飛行機を間近に見学したり、フライトシミュレーターを使った操縦訓練に臨んだりした。

子どもたちの企画力や想像力の育成などを目的とした「北区こどもチャレンジ公民館」の一環で、崇城大が協力した。

保護者を含め約50人が参加。飛行機が飛ぶ仕組みや操縦方法などを同大関係者から学んだ後、学生が訓練で使う機体を格納庫で見学した。フライトシミュレーターで、熊本空港の上空を飛行する体験もした。

将来、パイロットになりたいという弓削小5年の田辺優さんは「強化プラスチックでできた機体があることを知り、感動した」と笑顔で話した。父親の健さん(51)は「小さい頃、パイロットに憧れていた。また目指したいな」と笑った。

(石井颯悟)